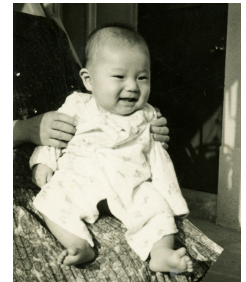


教員についての基本情報

教員名	吉田 悦治 教授 (YOSHIDA Etsuji)
担当教科と分野	図工・美術科教育における指導法科目
研究分野	美術教育学, 芸術実践論
担当授業	スタートアップ美術, 図工科教育法, 美術科教育法A～D, 図工・美術教材研究, 図工・美術実践研究, 教職実践演習, 子ども学フィールドワーク, 卒研基礎, 卒業研究
授業についての一言	社会全般の中で「美術/教育」の持つ可能性を探っていきます。学校教育に閉じた実践ではなくコミュニティの中で異年齢の子どもたちや多様な人々が参加できる「アートアクション及びワークショップ」の企画・実践を行います。また、「場」の特性やそこに息づく日常への眼差しを活かした表現活動を探求し、参加者とともに学びを創造していくプロセスを考察していきます。
美術教育専修のWEBサイト	https://www.u-ryukyu-art.com



幼き頃の私 (大阪の実家にて)

研究の内容

アートと教育のあいだを漂流しながら、「コミュニティ・スペシフィック」の視点から立ち現れる美術教育を実践している。

研究のキーワード&スピリット

「場」の声に耳を澄まし、アートの力で「場」をひらく。
ニヤリと笑えるユーモアを内包させる。
その時たまたま出会ったモノ・コトを重宝する。
自ら表現する創り手の感覚を忘れないようにする。
研究費はほとんどメイクマンで消費する。

研究室で取り組まれた卒業研究の内容

これまでの研究テーマ (2019～2022)

「手について探る痕跡を残すこと、残された痕跡について」(2022), 「ぬいぐるみという存在-いのちを構成する要素」(2022), 「溢流する声音」(2021), 「貴方がくれた私の歩む道-うつりたる母子像-」(2021), 「透明な存在に そぼ降る糸の雨」(2021), 「私が私である所以」(2021), 「紫斑-毎秒6コマで伝えるメッセージ-」(2020), 「色浴」(2020), 「彼方の瞬きが私を撫でる」(2020), 「Ori 紙 -私好みへの浸水-」(2020), 「うわばきたちの群像劇」(2019), 「Unnatural -不自然な自分」(2019), 「Main 塵 actor-陰影と真影のインスタレーション」(2019), 「Blink of Eyes まばたきの瞬間」(2019), 「パノラマな風景 ジオラマの中の私」(2019)

研究室(ゼミ)の様子

学生たちは、わたしのゼミを多目的広場のようなものと思っているようで…、それぞれ得体の知れない表現で勝手なことをやっています。